



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 大和ハウス工業株式会社

コード番号 1925 URL <http://www.daiwahouse.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大野 直竹

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部IR室長

(氏名) 土田 耕一

TEL 06-6342-1400

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,425,915	7.8	88,733	0.9	91,330	2.4	51,408	61.9
24年3月期第3四半期	1,323,171	7.1	87,903	22.4	89,176	22.4	31,750	△29.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 54,026百万円 (94.5%) 24年3月期第3四半期 27,778百万円 (△36.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	88.84	—
24年3月期第3四半期	54.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,065,654	697,765	33.7
24年3月期	2,086,097	657,891	31.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 696,689百万円 24年3月期 657,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,970,000	6.6	125,000	8.7	121,000	11.5	62,000	86.7	107.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P.2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	599,921,851 株	24年3月期	599,921,851 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	21,237,725 株	24年3月期	21,206,006 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	578,700,208 株	24年3月期3Q	578,796,714 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定については、[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成25年2月8日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時にホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き東日本大震災からの復旧・復興による内需が景気を下支えましたが、世界景気の減速等を背景に依然として厳しい状況が続いてまいりました。

当業界におきましては、東日本大震災における被災地以外の地域を対象とする住宅エコポイント制度が平成24年7月に終了したものの、住宅取得支援策として住宅ローン減税や省エネルギー性・耐震性を備えた住宅取得のための贈与税非課税枠の拡大などは引き続き実施されており、平成24年9月から12月の新設住宅着工戸数は4ヶ月続けて前年同月の水準を上回るなど、緩やかながら持ち直しの動きが継続しました。

このような経済状況の中で、当社グループは平成25年度を最終年度とした「大和ハウスグループ第3次中期経営計画『3G』For New Growth」(※3Gとは基本方針「Group-成長の継続」「Great-成長への基盤整備」「Global-成長への布石」の頭文字)を策定し、「再成長」をテーマに業容の拡大に努めてまいりました。

特に本年度は、「地域密着」「環境」「高齢化」「グループ力」をキーワードとした事業展開の強化に注力してまいりました。「環境」に関する取り組みといたしまして、平成24年5月に「D's SMART STORE (ディーズ スマートストア)」の実証実験を開始し、平成24年12月には、次世代環境配慮型工場「D's SMART FACTORY (ディーズ スマート ファクトリー)」を発売いたしました。さらに、大規模ソーラー発電事業といたしまして、太陽光発電システム搭載の当社岡山第2工場および「ひびき国際物流センター」(福岡県・当社所有)が竣工したほか、平成24年12月には旧札幌工場跡地(北海道・当社所有)にもメガソーラーを着工いたしました。「高齢化」に関する取り組みといたしましては、首都圏3ヶ所にて介護付き有料老人ホームを展開する東電ライフサポート株式会社の全株式を平成24年6月に取得し、商号を大和ハウスライフサポート株式会社として連結子会社化いたしました。さらに、株式会社寿恵会が、環境・防災・健康に配慮した住宅型有料老人ホーム「ネオ・サミット茅ヶ崎」(神奈川県)を平成24年12月にオープンいたしました。「グループ力」に関する取り組みといたしましては、大和ハウスリート投資法人が平成24年11月、株式会社東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場いたしました。加えて、平成24年12月に大和物流株式会社が、高付加価値なロジスティクスサービスを提供し、物流事業の競争力強化を図るべく、SCSホールディングス株式会社の株式を取得し、当社のグループ会社といたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1兆4,259億1千5百万円(前年同期比7.8%増)となりました。利益については、経常利益は913億3千万円(前年同期比2.4%増)、四半期純利益は514億8百万円(前年同期比61.9%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2兆656億5千4百万円となり、前連結会計年度末の2兆860億9千7百万円と比べ204億4千2百万円の減少となりました。その主な要因は、前連結会計年度末日が金融機関の定休日であったことに伴って増加していた工事未払金等の支払いを行い、現金預金が減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1兆3,678億8千9百万円となり、前連結会計年度末の1兆4,282億6百万円と比べ603億1千6百万円の減少となりました。その主な要因は、法人税等の支払いを行ったことや、仕入債務が減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,977億6千5百万円となり、前連結会計年度末の6,578億9千1百万円と比べ398億7千4百万円の増加となりました。その主な要因は、前連結会計年度に係る株主配当金を支払ったものの、514億8百万円の四半期純利益を計上したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成25年1月8日にリリースいたしました通り株式会社フジタの株式を取得しておりますが、当社の連結業績に影響を与えるのは平成25年4月以降となるため、平成24年11月8日に公表いたしました「平成25年3月期 第2四半期決算短信」における業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	250,649	131,746
受取手形・完成工事未収入金等	93,874	106,583
有価証券	6	6
未成工事支出金	14,361	17,758
販売用不動産	297,483	296,465
仕掛販売用不動産	34,968	56,808
造成用土地	1,378	1,332
商品及び製品	12,333	14,267
仕掛品	6,002	6,825
材料貯蔵品	5,411	6,115
その他	129,891	125,367
貸倒引当金	△1,604	△1,442
流動資産合計	844,757	761,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	630,129	658,864
減価償却累計額	△295,823	△312,935
建物及び構築物(純額)	334,305	345,929
土地	364,954	383,717
その他	148,223	157,340
減価償却累計額	△98,935	△100,726
その他(純額)	49,288	56,614
有形固定資産合計	748,548	786,261
無形固定資産	32,056	38,412
投資その他の資産		
投資有価証券	118,334	130,323
敷金及び保証金	186,657	186,045
その他	162,939	165,174
貸倒引当金	△7,195	△2,396
投資その他の資産合計	460,735	479,146
固定資産合計	1,241,340	1,303,820
資産合計	2,086,097	2,065,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	210,241	152,128
短期借入金	2,559	3,604
1年内償還予定の社債	1,353	1,353
1年内返済予定の長期借入金	145,436	30,422
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	24,826	11,239
未成工事受入金	48,993	64,337
賞与引当金	26,995	14,738
完成工事補償引当金	6,224	5,574
資産除去債務	1,621	1,644
その他	163,620	156,322
流動負債合計	631,872	471,366
固定負債		
社債	100,720	130,693
長期借入金	133,556	197,580
長期預り敷金保証金	218,479	222,976
退職給付引当金	188,400	194,698
資産除去債務	22,613	23,892
その他	132,563	126,680
固定負債合計	796,334	896,522
負債合計	1,428,206	1,367,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	110,120	110,120
資本剰余金	226,824	226,824
利益剰余金	380,751	417,097
自己株式	△19,944	△19,979
株主資本合計	697,751	734,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,566	10,221
土地再評価差額金	△40,738	△40,144
為替換算調整勘定	△7,469	△7,451
その他の包括利益累計額合計	△40,640	△37,373
少数株主持分	779	1,075
純資産合計	657,891	697,765
負債純資産合計	2,086,097	2,065,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,323,171	1,425,915
売上原価	1,040,693	1,127,673
売上総利益	282,478	298,242
販売費及び一般管理費	194,574	209,509
営業利益	87,903	88,733
営業外収益		
受取利息	2,209	2,335
受取配当金	1,699	1,712
持分法による投資利益	—	1,021
雑収入	5,385	4,444
営業外収益合計	9,293	9,513
営業外費用		
支払利息	4,827	4,147
持分法による投資損失	813	—
雑支出	2,380	2,768
営業外費用合計	8,021	6,916
経常利益	89,176	91,330
特別利益		
固定資産売却益	84	51
投資有価証券売却益	612	28
退職給付過去勤務債務償却	—	204
段階取得に係る差益	—	122
特別利益合計	696	405
特別損失		
固定資産売却損	189	222
固定資産除却損	792	806
減損損失	2,603	58
投資有価証券評価損	781	7,112
投資有価証券売却損	1,282	—
その他	348	16
特別損失合計	5,998	8,216
税金等調整前四半期純利益	83,873	83,519
法人税、住民税及び事業税	31,107	23,473
法人税等調整額	21,057	8,693
法人税等合計	52,164	32,166
少数株主損益調整前四半期純利益	31,708	51,353
少数株主損失(△)	△41	△55
四半期純利益	31,750	51,408

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,708	51,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,723	2,782
土地再評価差額金	3,467	—
為替換算調整勘定	△1,060	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,613	△87
その他の包括利益合計	△3,930	2,673
四半期包括利益	27,778	54,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,820	54,081
少数株主に係る四半期包括利益	△41	△55



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。